

29名の部員紹介



【4年(主将)】高樽優也
札幌龍谷学園高等学校

今年主将を務めさせて頂く高樽優也です。昨年は歴代最多勝利数や、18年振りに全日本学生三種目総合優勝を果たし黄金時代と呼ばれた次の年に主将を務めるのは、とてもプレッシャーでした。しかし、今回の関東学生では選手一人一人が集中し部員が一致団結することでそんなプレッシャーも跳ね除けてくれました。後期の学生戦も部員全員で力を合わせ、日大の強さを維持していきたいと思ひます。皆さん応援よろしくお願いします。

左から 【4年(女子主将)】 小松 愛子 科学技術学園高等学校
【4年(副将)】 川崎 長門 水戸農業高等学校
【4年(副将)】 野村 彬仁 北杜高等学校



左から 【3年】 串間 宏充 志学館高等部校
【3年】 南保 陸人 明治大学付属中野八王子高等学校
【3年】 梶 晃太郎 菊池農業高等学校



左から 【3年】 堀口 和希 高田学園高等学校
【3年】 庄司 開 幡多農業高等学校
【3年】 木崎 翔太 三本木農業高等学校



左から 【3年】 柿澤小夜子 宮城第一高等学校
【3年】 初田 理奈 昭和女子大学附属昭和高等学校
【3年】 神林 夏実 土浦日大中等教育学校



左から 【2年】 牧野 寛汰 安城農林高等学校
【2年】 千葉 俊郎 熊本農業高等学校
【2年】 折原 冬弥 静内農業高等学校



左から 【2年】 山本 裕貴 東京農業大学第一高等学校
【2年】 佐々木 愛 日大豊山女子高等学校
【2年】 辻 志雄 堺東高等学校



左から 【2年】 細村 勇哉 東京農業大学第三高等学校
【2年】 森田 薫子 横浜華人高等学校
【2年】 奥村 隆志 大和高等学校



左から 【1年】 山本 ジョナ 聖パウロ学園高等学校
【1年】 山田 祥貴 安城農林高等学校
【1年】 高橋 一成 日大山形高等学校



上段左から 【1年】 竹内 千夏 関東国際高等学校
【1年】 伊藤 美里 土浦日大中等教育学校
【1年】 筑後 優子 いすみ高等学校
下段左から 【1年】 朝生 浩美 菊池農業高等学校

平成24年後期行事予定

- 7月
14日~16日 第29回全日本ジュニア馬術大会2012 (御殿場市馬術スポーツセンター)
20日~22日 第33回全日本ジュニア総合馬術大会2012 (山梨県馬術競技場)
26日~29日 第36回全日本ジュニア障害馬術大会2012 (山梨県馬術競技場)
- 8月
13日~14日 平成25年度新入生トライアウト (本学合宿所)
24日~26日 第29回サマーホースショー2012 (山梨県馬術競技場)
31日~9月2日 Fuji Horse Show Grand Prix2012 (御殿場市馬術スポーツセンター)
- 9月
7日~9日 第42回全日本総合馬術大会2012 (山梨県馬術競技場)
7日~9日 第58回東京馬術大会CDI**TOKYO2012 (JRA馬事公苑)
17日 第84回関東学生馬術選手権大会 (JRA馬事公苑)
29日~30日 9月ホーストライアル (JRA馬事公苑)
6日~7日 第50回関東学生馬術女子競技大会 (JRA馬事公苑)
- 10月
13日~14日 第47回オリンピック記念馬術大会 (JRA馬事公苑)
31日~11月7日 平成24年度全日本学生馬術三大大会 (JRA馬事公苑)
- 11月
16日~18日 第82回関東学生馬術争覇戦 (JRA馬事公苑)
- 12月
8日~9日 第84回全日本学生馬術選手権大会 (JRA馬事公苑)
末日 平成24年度納会 (本学合宿所)

合宿所・馬場

〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野840
TEL:0466-81-0288
FAX:0466-81-8885
e-mail: nuet@msj.biglobe.ne.jp
web: http://www.nu-equestrian.com

皆様応援よろしくお願いします。

日大馬術部 ブログ

「むっちゃん」をご存じですか?

大人気「むっちゃん」は日々更新中。六会の楽しい出来事がわかりますよ。ぜひご覧になって下さい!

試合動画配信中!
facebook・Amebaブログはじめました!

(編集担当) 川崎長門、神林夏実

Nihon Univ. Equestrian Team

Vol.15 2012. Summer Team



雑草の思考

監督 諸岡 慶



関東学生三大大会が終わり、2年連続の三種目総合優勝を果たすことができました。障害団体は3位、馬場団体が優勝、最終種目の総合でも団体優勝と、これも偏に日頃からのご厚情と、関係各位の皆様にはお礼を申し上げる次第です。この結果の余韻に浸ることなく、終わったら次を見据えなくてはなりません。この程度で全日本学生を勝てるものではないと思ひます。それは選手が一番分かっているはずで。

関東学生馬術三大大会

2年連続三種目総合団体優勝

今年の関東学生は全種目ほぼ新しい人馬で挑むというプレッシャーの中、昨年に引き続き馬場団体・総合団体・三種目総合団体が優勝を果たすことができました。

初日の学生賞典障害飛越競技は、2走りの総減点が少ない者上位10名が決勝に進める。1走目で3年神林と桜珀が減点0、4年高樽と桜飛、1年

山本と桜鑽の2人馬が減点4、3年柿澤と桜旭、3年庄司と桜俊の2人馬がまさかの減点12というスタートを切った。「切り替えていこう!」主将高樽の掛け声とともに2走目を迎えたが、皆減点を抑えることができず高樽と桜飛だけが2走行目満点で決勝に進むことができ、安定した走りの末減点0で個人3位に入賞した。団体も僅差で3位となった。

翌日の学生賞典馬場馬術競技では高樽と桜絆が好調な滑り出しで59.99%、続く3年初田と桜玄が62.888%、柿澤と桜橋が62.471%、4年川崎と桜希が62.360%と高得点をたたき出し、2,3,4位と上位を独占。馬場団体も1位と点差をつけて優勝することができた。

残り一種目を前に「黄金時代はまだ終わらせない!!」部員全員で円陣を組んで意識を高めた。学生



賞典総合馬術競技では、柿澤と桜鶴が調教審査での減点を守り切り、総合減点59.0で2位、3年木崎と桜も総合減点64.4で4位に入賞した。高樽とイベカは調教審査でトップに立ったが耐久審査と余力審査の減点が響き総合減点69.6で6位。耐久審査で半分以上が失権するなか2年牧野と桜恋が総合減点105.2で11位、2年千葉と桜隼も総合減点135.7で完走し13位、日本大学のみ出場人馬全員が完走した。

昨年とはレギュラーも馬も大半が入れ替わり、手さぐり状態で挑んだ関東学生だったが、監督・コーチ・大勢のOB・OGに支えられて勝ち取れた。この勢いで全日本学生までさらなる技術向上を目指し、部員一同頑張っていきたいと思ひます。



関東学生2年連続 三種目総合団体優勝

3年 初田理奈 桜玄

桜玄には昨年の8月から乗せていただき、人馬ともに今回が初めての関東学生でした。桜玄はとても経験のある馬で、素直で賢く、経験のない私にとって先生のような存在でした。馬は良くても人の技術不足でなかなか上手い出来ないこともありましたが、だんだん馬との折り合いがつかうようになり自信をもって関東学生に臨むことができました。

もちろん不安や緊張もありました。しかし、「絶対勝つ」と心に決め、とにかく馬を信じて、無心で演技しました。

2位という悔しい結果は、完全に人の技術不足だと反省しています。馬に申し訳ない気持ちでいっぱいですが、最後まで私を助けてくれた桜玄に本当に感謝しています。

また、このような素晴らしい馬に乗せてくださった監督をはじめ、コーチの方々に感謝申し上げます。関東学生の悔しい思いを忘れずに、全日本学生では優勝目指して日々の練習に励みたいと思います。



3年 柿澤小夜子 桜鶴

今年の関東学生で桜鶴と挑んだ総合馬術競技。一言で表すと「悔しい」に限ります。

最終日の余力審査。満点なら勝ち、1つでも落としたら負けという場面で惜しくも1落。勝てる時に勝ちきれない自分の未熟さや弱さを改めて感じました。

桜鶴は総合馬術のスペシャリストです。昨年、現馬術部コーチである上原佑紀さんが騎乗して出場した総合馬術競技は全戦全勝。そのような素晴らしい馬に騎乗しているということにもっとも自覚をもって、全戦全勝を目標に日々努力をしています。

全日本学生では絶対勝ちます！応援よろしくお願いたします。



4年 主将 高樽優也 桜飛

自分にとって最後の関東学生。今年に入ってから目標である全日本学生と関東学生を見据えて、絶対に悔いの残らぬよう部員一団となって練習に取り組んできました。試合前は部員の雰囲気も良く万全の状態でした。しかし1日目の障害では、皆プレッシャーがあったのかいつもの走行ができず、団体優勝を逃してしまいました。でもそこからは日大魂。馬場の団体、総合の団体をとることができ、三種目総合優勝をすることができました。

障害団体や個人優勝を逃したのは小さなミスが沢山あったからだと思います。そこで、これからは全日本学生に向けて部員全員さらに気を引き締めていきたいと思っています。



4年 副将 川崎長門 桜希

私が騎乗した桜希号はオランダ産れのKWPNです。過去に多くの試合に出場、成績がある馬に乗せていただき、監督をはじめコーチの方々には感謝しています。

今年の関東学生馬場馬術競技は、見事に団体優勝を果たすことができました。しかし私自身の成績としては納得できる結果ではなく、4年間馬場馬術のみに全てを費やして来た結果が個人4位というのは恥じるべき事です。「この屈辱は必ず全日本で晴らしてみせる。」そう心に誓った今、一日一日の練習をより濃いものにし、来るべき全日本学生に向けて精進していきたいと思っています。



3年 木崎翔太 桜勝

桜勝と自分は今年の春からコンビを組ませてもらっています。今年初めて挑んだ大会では、桜勝の特徴を掴めず思うような走行が全く出来ませんでした。ですが何度か大会に出させていただき、特徴や癖を理解し経験を積み、そして挑んだ東都学生複合馬術競技では優勝することができました。そして関東学生では調教審査、耐久審査、余力審査とも決して納得できない内容でしたが桜勝に助けられ入賞することができました。特に野外では難易度の高い障害で自分が踏切を外しても、躊躇せず得意気に飛越してくれました。本当に感謝しています。全日本学生では、誰にも負けない気持ちで優勝目指して頑張ります。



最強を作る最高の施設



馬場 毎日の練習の場であり、馬場ラチを組むことや、障害のコースもフルで組むことができる広さがあります。試合形式で練習が可能のため選手のスキルアップに大変役立っています。また、雨が降っても透水性が抜群のため絶対に泥るお事なくグリップの効いた馬場が毎日の運動の質を高めています。



山坡 その名の通り地形を生かした野外練習場。合宿所を取り囲むように隣接する走路。本学が最も力を注いでいる総合馬術のクロスカントリー練習を行う事ができます。練習後の鎮静運動やハックにも有効的に使用され、馬の首、背中、腰のトップラインの柔軟なトレーニングに欠かせない練習場となっています。

馬術部員の日常生活

休日

5:00
ミーティング
朝食
↓
騎乗して練習
↓
馬の手入れ
馬房掃除
↓
12:30
飼い付け
昼食
↓
馬のケア
↓
飼い付け・掃除
↓
19:30
全員で夕食
解散

開講日

5:00
ミーティング
朝食
↓
騎乗して練習
馬の手入れ
馬房掃除
↓
午前の講義
(9:00~12:10)
↓
12:30
飼い付け
昼食
↓
午後の講義
(13:00~16:10)
↓
馬のケア&
飼い付け・掃除
↓
19:30
全員で夕食
解散

チーム日大 Special Items スペシャルアイテム

障害飛越競技・馬場馬術競技・総合馬術競技のレギュラーのみが身にまとう事ができるチーム日大のスペシャルアイテムです。

チーム上衣と燕尾は、グレーをアクセントに上品さをかもし出しています。チーム燕尾に関しては部員の意見を聞きながら、生地、色、ボタンに至る細部まで特注したものとなっています。

また、総合馬術競技で着用するバックガードは日大カラーのピンクをベースにスタイリッシュなデザインとなっているため、他の大学には無いチーム魂を掻き立ててくれるのです。

試合会場でも一目でチーム日大ということが分るので皆さんどうぞ声をかけてください。

障害飛越 競技



馬場馬術 競技



総合馬術 競技

